

授業科目名	国際教育論
科目番号	CB25051
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋AB 火3,4
担当教員	タスタンベコワ クアニシ
授業概要	この授業では、日本における外国人の子どもたちの教育問題を取り上げる。外国人子どもたちの教育保障(教育への権利、親の就学義務)に焦点を当てて、関連文献、文部科学省政策文書・統計を解説し、テーマに関連するドキュメンタリーを鑑賞・分析し、討論を行う。
備考	社会教育主事 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス:4.広い視野と国際性 専門コンピテンス:2.教育学の基礎的体系的知識、3.教育学における総合的思考力
授業の到達目標(学修成果)	この授業の到達目標は、日本における外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題を政策文書・統計、学術研究、NGOの報告書の解説を通して学び、その状況を把握することである。
授業計画	<p>この授業では日本における外国人子どもたちの教育問題を取り上げる。外国人子どもたちの教育保障(教育への権利、親の就学義務)に焦点を当てて、関連文献、文部科学省政策文書。統計を解説し、テーマに関連するドキュメンタリーを鑑賞・分析し、検討を行う。</p> <p>なお、2020年度の授業形態はオンライン(オンデマンドと同時双方向型のハイブリッド)である。詳細についてmanabaで要確認。</p> <p>第1回 オリエンテーション:授業の目標、計画、使用資料の提示  第2回 日本社会の多様化・多文化化についてディスカッション  第3回 法務省の統計データから在留外国人の動向を読み取る  第4回 在留資格とは何か、資格によってどのような活動ができるか  第5回 在留外国人子どもの概要:年齢、性別、国籍・地域別  第6回 「外国にルーツをもつ子どもたち」、「移動する子どもたち」とは誰か  第7回 外国人子どもたちの教育を受ける権利保障の法的基盤:国際法  第8回 外国人子どもたちの教育を受ける権利保障の法的基盤:国内法  第9回 日本語指導が必要な児童生徒の受入等に関する調査  第10回 日本語教育実施の法的基盤  第11回 日本語教育の現状と課題  第12回 外国人子どもの不登校・不就学の問題  第13回 外国人学校の状況  第14回 在日コリアンの教育  第15回 ドキュメンタリー「いま、在日として 朝鮮学校の激動の1年」鑑賞  第16回 ドキュメンタリーのテーマに関するグループワーク  第17回 ドキュメンタリー「孤独なツバメたちーデカセギの子どもに生まれて」鑑賞  第18回 ドキュメンタリーのテーマに関するグループワーク  第19回 グループワーク:日本社会の多様化・多文化化の再考  第20回 全体のまとめ、討論</p>
履修条件	この授業は教育学類で開講されているが、他学類の学生の履修も歓迎する。
成績評価方法	事前課題、レポートの総合点で評価する。事前課題計8本各5点(40点)、学期末レポート

成績評価方法	60点の100点満点で評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義60%、演習40%  第2回~18回ではオリエンテーションのとき配布する資料のそれぞれに関する課題を出す。課題は主として資料内容の要約と考察。 課題の提出を評価の対象とする。
教材・参考文献・配付資料等	政策文書、統計などは配布する。このほかに、下記の文献を中心に講義をする。入手必要な文献をオリエンテーションのとき指定する。 1. 『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』明石書店、2017年 2. 『多文化社会に生きる子どもの教育 外国人の子ども、海外で学ぶ子どもの現状と課題』明石書店、2019年 3. 『移民から教育を考えるー子どもたちをとりまくグローバル時代の課題』ナカイシヤ出版
オフィスアワー等（連絡先含む）	人間系A544 内線 4596 E-mail: kuanys26@human.tsukuba.ac.jp 月曜日 昼休み
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	政策文書、統計を事前にmanabaにアップロードしておくので、それをプリントアウト、解読のうえ、授業に持参すること。事前学習をしてくること、討論に積極的に参加すること。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	外国人児童生徒，教育権，学習権，日本語，ニューカマー，移民，格差